

当社単独業績見通しにおける経常利益・当期純利益の変動要因

○ 平成30年3月期通期見通し（対前年度比較）

	30年3月期 見通し ①	29年3月期 実績 ②	増減 ①－②
売上高	6,980億円程度	6,771億円	210億円程度
営業利益	220億円程度	202億円	20億円程度
経常利益	80億円程度	58億円	20億円程度
当期純利益	90億円程度	51億円	40億円程度

【経常利益の変動要因】

(億円程度)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 燃料費調整制度の影響による売上高の増加 330 ■ 販売電力量の減少による燃料費の減少 140 ■ 修繕費の減少 150 (火力発電所定期検査基数の減少 など) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 燃料価格の上昇による燃料費の増加 280 ■ 販売電力量の減少による売上高の減少 210 ■ 水力発電量の減少による燃料費の増加 100 ■ その他 10 (固定資産除却費の増加 など)
差し引き 20億円程度 好転	

【当期純利益の変動要因】

(億円程度)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経常利益の増加 20 ■ 渴水準備金の引当・取り崩し 20 ■ 前年度台風災害による特別損失計上（15億円）の反動 20 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法人税等の増加 20
差し引き 40億円程度 好転	